

逸脱 coil が遠位移動した脳動脈瘤塞栓術の 3 例

3 cases of cerebral aneurysms complicated with coil migration during embolization

赤路 和則¹⁾ 富尾 亮介¹⁾ 谷崎 義生¹⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳神経外科

[目的]脳動脈瘤塞栓術中に coil が逸脱、遠位移動した 3 症例を経験したので報告する。〈br〉

[症例 1]44 歳、女性。未破裂右傍鞍部内頸動脈瘤。balloon assist technique で塞栓術施行。4 本目 coil 回収時、直前に挿入した GDC10 360 soft SR 3mm x 6cm が逸脱し M3 へ移動した。Prowler select plus を誘導し Goose neck snare 2mm を用いて回収した。塞栓術継続し、完全塞栓で終了。術後経過は特に問題なかった。〈br〉

[症例 2]61 歳、女性。くも膜下出血で発症した左内頸動脈後交通動脈分岐部瘤。balloon assist technique で塞栓術施行。先端を S 状に shaping した microcatheter を瘤内へ誘導。Micrus Frame S 3mm x 5.4cm で framing。その後、Axium Prime Helix 2mm x 2cm、1.5mm x 2cm を追加した。microcatheter の抜去時、coil 塊が逸脱し M2 移動した。Prowler select plus を誘導し Goose neck snare 4mm を用いて coil 3 個すべて回収した。stent assist technique に変更して塞栓術継続し、neck remnant で終了。術後経過は特に問題なかった。〈br〉

[症例 3]65 歳、女性。くも膜下出血で発症した左内頸動脈後交通動脈分岐部瘤。simple technique で塞栓術施行。先端を 45 度に shaping した microcatheter を瘤内へ誘導。microcatheter 抜去時、最後に挿入した Axium Prime Helix 1mm x 1mm が逸脱し、左後大脳動脈分枝の左後頭側頭動脈へ移動した。そこで、右椎骨動脈から左後頭側頭動脈へ Excelsior1018 を誘導し Goose neck snare 2mm を用いて coil 回収を試みたが困難であった。Trevor XP 3mm x 20mm を用いたところ、coil 回収はできなかったが、左後頭側頭動脈の側頭葉への分枝の描出が良好となった。塞栓術は neck remnant で終了とした。翌日、軽度右視野狭窄を認め、頭部 MRI では、左後頭葉に新鮮梗塞を認めた。〈br〉

[結語]脳動脈瘤塞栓術中、coil が逸脱、遠位移動する危険がある。helical 形状の小さな coil が逸脱した場合、遠位の細い枝まで移動し、coil を回収できないこともあると考えられた。